

## 平成27年度 P T A 活動最終報告

学校名 吉原第一中学校

会長名 田口 和之

平成27年度重点活動の具体的な取り組み内容（三校合同事業の内容等も記入）

- ・成人教育部 PTA だよりの発行（年3回）、三校合同後援会
- ・生活指導部 校区内巡視（年4回）、運動会巡視
- ・環境整備部 奉仕作業（学年単位で各1回、計年3回）、環境整備協力金を集金
- ・体育保健部 三校ソフトバレー大会、校内ソフトバレー大会、運動会でPTA 競技の開催  
思春期講座参加
- ・学年学級部 学級別懇談会、コサージュ作り、給食試食会、市P 連母親委員会出席
- ・企画調整部 各種会議の運営進行、研修旅行・懇親会等の企画

取り組みの効果

1. ⑦ 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

年間10回の総務会を通じ各部の活動・事業の内容確認を行い、総務会役員と先生方との連携をとりPTA活動を推進し、下記の活動を行った

- ・成人教育部 三校合同講演会では吉原小（27年度当番校）を中心に「ビリギャル」の坪田先生にお越しいただき11月4日開催しました。  
PTAの集いの学校紹介の作成、各部の活動や部活動、学校行事などを纏めていただき、最優秀賞をいただきました。
- ・生活指導部 校区内巡視、運動会巡視等、問題なく終了しました。
- ・環境整備部 親子奉仕作業では、多くの方に参加・協力していただき、子どもにきれいな環境で学校生活をしてもらうことができました。
- ・体育保健部 三校合同ソフトバレー大会では三校の交流を持ち、校内球技大会では教職員・PTA・子供たちが参加し交流ができました。
- ・学年学級部 学級別懇談会では先生と保護者とのコミュニケーションの場となり、つながりができた。給食試食会では、実際に給食を食し栄養士さんからの話を聞き、学校給食について考えることができました。  
卒業生の胸につけるコサージュ作りを実施。
- ・企画調整部 各種会議の運営・進行を行い、PTA役員、教職員、後援会とのパイプ役となり、交流の場も設営して連携をとることができました。

－反省点－

現状の活動を引き継ぐだけではなく、更に活動内容を充実させるよう改善していきたい。

－改善案－

児童数、世帯数の減少で地区評議員の見直し検討をしていきたい。

## 平成27年度 PTA 活動最終報告

学校名 富士市立吉原第二中学校 会長名 杉山 喜敬

---

平成27年度重点活動の具体的な取り組み内容（三校合同事業の内容等も記入）

- ・プロのシンガーと歌って踊ろう（三校合同事業）
- ・役員会 ・給食試食会 ・献血活動 ・みそ造り教室
- ・卒業生コサージュ作り ・朝の挨拶運動 ・防犯教室
- ・古紙回収 ・奉仕作業 ・AED講習会 ・文化発表会ドアマン
- ・PTA新聞発行 ・情報交換会 ・運動会準備
- ・運動会PTA種目 ・卒業式駐車場整理 ・親どうしつながるシート実践

取り組みの効果

- ①. 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）  
—具体的な効果—

給食試食会やみそ造り教室、卒業生コサージュ作りなど、多数の保護者に来校していただく機会を通し、学校や生徒の様子を知っていただき、PTA新聞等により、それらを地域に発信していただくことができた。また、学校行事に対して全面的なバックアップをいただくことにより、運動会や文化発表会などを円滑に運営することができた。その他、朝の挨拶運動や校内巡視など、子どもたちの健全育成にも大変尽力いただき、金銭面においても、古紙回収等で得られた収益金により様々な物品を購入していただき、教育活動に大いに生かすことができた。

しかし、最大の効果は、様々な場面で保護者と教師が連携することにより、教育活動に対する保護者の理解が深まり、私たち教師が保護者に強力に支えてもらっていると強く実感できたことである。PTA活動は、学校には欠かせないものだと改めて感じる事ができた1年だった。さらに、小中のPTA どうしが三校合同事業を通して交流できたことも今後の大きな財産となった。

—反省点—

活動が活発になるにつれ、役員、教員ともに負担が増え、その活動が、かえって、教育活動を圧迫してしまうところがあった。また、負担が大きいことにより、役員のなり手がなかなか見つからないという現状もあった。

—改善案—

活動の改善、特に削減については、役員、教師とも、なかなか言い出せないものである。しかし、負担を感じるものについては、遠慮なく意見を交換し合い、改善策を見つけ、状況によっては、削減していくことが大切である。それが、よりよいPTA活動につながっていくと思われる。

## 平成27年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立吉原第三中学校 会長名 坂入 義徳

平成27年度重点活動の具体的な取り組み内容（三校合同事業の内容等も記入）

- ・豊丘村リンゴ斡旋活動など昨年度までの事業の継承

取り組みの効果

1. ①
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

- ・豊丘村の方々や地域、保護者の方々との親交を深めることができた。

－反省点－

- ・リンゴ斡旋活動の時、安全確保に注意が足りない場面があった。

－改善案－

- ・今後も話し合いをして、意見交換を行い、よりよい改善策を考えていく。

## 平成27年度 PTA 活動最終報告

富士市立元吉原中学校 高木哲也

### 平成27年度重点活動の具体的な取り組み内容(三校合同事業の内容等も記入)

特に重点に置く活動を決めず、各専門部とも例年行っていた行事を行いました。その中で本年度から、母親委員会が主で「給食試食会」を行い、学校給食について栄養士さんによる講義と試食を行いました。また、今後、子供数の減により地区役員、本部役員の確保が問題となることが予想されるため、地区割の見直しや役員の選出など組織改正について調査を始めました。

### 取り組みの効果

1. 有り
2. 無し

#### －具体的な効果－

大きな問題もなく、年間の行事をスムーズに行うことができました。

本年度から始めた「給食試食会」も、参加した保護者から好評をいただきました。PTA 組織改正については、次年度も引き続き協議していくこととしました。

#### －反省点－

#### －改善点－

例年行っている行事のためか、詳細事項の徹底が曖昧になっていたように感じられたので、各部会で内容周知の徹底を図るようにすればよかったと思います。

## 平成27年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立吉原東中学校 会長名 吉村 敬

平成27年度重点活動の具体的な取り組み内容（三校合同事業の内容等も記入）

- 1 各専門部の活動
- 2 楽しいP T A
- 3 P T A活動における役割分担
- 4 地域との連携

取り組みの効果

- ① 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）  
－具体的な効果－

- 1 各専門部において円滑な活動が行われた。
- 2 役員と先生方との親睦を深め、楽しい1年でした。
- 3 各部で役割分担を行い、人数が足りない所は保護者の協力があり、相互扶助が出来た。
- 4 地域行事の協力を行った。

－反省点－

- 1 地域行事の協力において、負担の大きい専門部があった。

－改善案－

- 1 働いている方にも参加して頂けるような体制作り。
- 2 これからも、少子化に伴い保護者の数が減る事が予想され、また、家庭環境の変化等があるため、従来通りのP T A役員の定数や、活動の見直しに来ている時期であり、保護者に負担の少ないP T A活動を行いたい。
- 3 地域の特性として、外国人の保護者にも理解して頂ける広報活動を行いたい。
- 4 地域行事の協力は、各支部長にも協力をお願いする。

## 平成27年度 P T A 活動最終報告

学校名 富士市立須津中学校 会長名 清水博喜

平成27年度重点活動の具体的な取り組み内容

昨年度に引き続き、できるだけ多くの方にP T A活動に参加したり、興味を持っていただきたりするように考えて、取り組みを行った。

### ① 「ピロシキ教室」

26年度は「食育モデル地区」に須津地区が指定され、更に本校が食育モデル校になったため「P T A母親委員会」が主催して「親子須津弁づくり」を開催した。本年度は「ピロシキ教室」を開催して参加者を募った。

- ・「愛鷹亭」の田嶋さんを講師に、26年度「食育」で二年生が考案した「須津中ピロシキ」をベースに簡単にできる思春期の子どもたちにあった栄養バランスの取れたピロシキを親子で作る試みを行った。

取り組みの効果 1  有  無

—具体的な効果—

「学校評価アンケート」より

26年度 私は須津中学校のP T A活動に関心がある(27年度は未調査)

1生	13	69	22	1	1	106	1年	12%	65%	21%	1%	1%
2生	22	72	19	2	6	121	2年	18%	60%	16%	2%	5%
3生	26	67	15	1	0	109	3年	24%	61%	14%	1%	0%
合計	61	208	56	4	7	336	合計	18%	62%	17%	1%	2%

26年度 私は須津中学校の教育活動に関心がある。

1年	41	63	3	0	0	107	1年生	38%	59%	3%	0%	0%
2年	45	55	6	0	6	112	2年生	40%	49%	5%	0%	5%
3年	37	64	7	0	0	108	3年生	34%	59%	6%	0%	0%
合計	123	182	16	0	6	327	合計	38%	56%	5%	0%	2%

27年度 私は須津中学校の教育活動に関心がある。

1年生	33	54	13	0	0	100	1年	33%	54%	13%	0%	0%
2年生	28	92	15	1	0	136	2年	21%	68%	11%	1%	0%
3年生	36	78	4	0	0	118	3年	31%	66%	3%	0%	0%
合計	97	224	32	1	0	354	合計	27%	63%	9%	0%	0%

左から「あてはまる」「ややあてはまる」「あまり当てはまらない」「あてはまらない」「無回答」

「私は須津中学校のP T A活動に関心がある」という項目は、本年度は学校評価の項目から削除されたため資料はないが、「教育活動に関心がある」は今年もやや減少傾向がうかがえる。6月に行われた生活指導部主催の「学年懇談会」は生活指導部の役員以外の一般参加者は非常に少なかった。しかし、母親委員会の「ピロシキ教室」「卒業式コサージュづくり」などは昨年度よりも多くの保

護者が参加し、奉仕作業も時間内に順調に行われた。また、3年間継続している「ソフトバレーボール」は内容も浸透し、熱戦が繰り広げられるなど、良い点も多くみられる。

上記①の26年度「親子須津弁づくり」は「親子」という点が災いし、男子生徒の保護者が全く参加しなかった。そのため、本年度は「ピロシキ教室」と名称を変更したため男女の保護者25人ほど参加するなど改善された。

#### ー反省点ー

東小学区は徒歩等で1時間近くかかるため、昨年度から運動会の地区テント運搬の際に近隣の駐車場を借りることにより、スムーズな運営ができ、地域からも好評であった。しかし、それ以外は徒歩を原則としているので、会合等の集まりが悪いことが考えられる。

#### ー改善案ー

グラウンド等に駐車できれば、様々な行事への保護者の参加が促されると思われる。しかし、グラウンド整備の必要性や、散水施設への影響等を考えると難しい点も多い。他校の現状などを教えていただき、改善したいと考えている。

## 平成27年度 P T A 活動最終報告

学校名 富士市立大淵中学校 会長名 小野金哉

### 平成27年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・成人教育部 PTA新聞の発行  
保護者への教育講演会の実施（鈴木敦士氏）
- ・生活指導部 校内・地区巡視および夜間の巡回とパトロール  
臨時パトロールを10月と11月に行い強化。
- ・環境整備部 古紙とペットボトルの回収事業  
校内の草取りとの美化活動を実施
- ・体育保健部 PTAと教職員の親睦球技大会の開催  
親子普通救急救命講習会の開催
- ・母親委員会 朝の登校時における挨拶運動の実施  
マドレーヌと古着の販売と卒業生へのコサージュ作り

### 取り組みの効果

1. **有**
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

#### —具体的な効果—

各専門部のPTA事業を通し、PTA会員が昨年が続いてさらに団結を深めることができている。また、地域の各種団体共々、上手に連携を取りながら、生徒たちの見守りができている。

#### —反省点—

昨年同様に、PTA事業への参加者は増えてきているが、実際のところ、PTA役員や理事の参加が中心で、ほぼ同じ参加者になっているのが現状なので、これまで以上に、他の保護者に呼びかけをしていくことが必要だと思う。

#### —改善案—

- ・各PTA事業の後に反省会を開き、参加人数・参加者の分析を行い、各事業の一般会員の参加者を増やす。
- ・まちComiメールを用いて、各事業の様子を会員の皆様に報告し、さらなる理解と協力をお願いする。



## 平成27年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立富士中学校 会長名 若月 正章

平成27年度重点活動の具体的な取り組み内容（三校合同事業の内容等も記入）

- \*あいさつ運動、校内パトロール、学区パトロール、奉仕作業と内部の団結強化にともなうP T A活動への積極的参加意欲を、高めるようにした。
- \*三校合同事業は、前年度からの申し送りでも中止となりました。

取り組みの効果

1. 有
  2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）
- －具体的な効果－

先生方の引き続きの指導の賜で、皆よく挨拶の飛び交う良い環境になっている。  
ゴミのないきれいな学校です。

－反省点－

三校合同事業のような重要案件は、実行する当該年度の役員が決めるべきだ。

－改善案－

三校合同事業の重要性を、小学校の先生に説明して来年度はしっかりと開催する。

## 平成27年度 P T A活動最終報告

学校名 田子浦中学校 会長名 山 邊 隆 博

平成27年度重点活動の具体的な取り組み内容（三校合同事業の内容等も記入）

- ◎ 1、ソフトバレーボール怪我再発防止
- ◎ 2、古紙回収 収量収益の改善
- ◎ 3、小中合同企画事業の見直し
- ◎ 4、地教連の見直し

取り組みの効果

1.  有
  2.  無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）
- 具体的な効果—

添付 資料参照

—反省点—

添付 資料参照

—改善案—

添付 資料参照

報告事項 ◎は重点項目

- ◎1、ソフトバレーボール怪我再発防止
- ◎2、古紙回収 収量収益の改善
- ◎3、小中合同企画事業の見直し
- ◎4、地教連の見直し
- 5、各種巡視活動
- 6、地区懇談会の有効活用
- 7、懇親会等の改善

1、PTA 親睦ソフトバレーボールでの怪我の再発防止

ここ近年ソフトバレーボールにおいてアキレス腱断裂などの怪我が発生している。競技開始前の準備体操の徹底により対策を図ったものの本年も一人が足の筋を痛める怪我が発生してしまった。競技に熱が入りすぎることはうれしい反面怪我のリスクを伴う。次年度はウォーミングアップに準備体操以外のゲームなどを取り入れる等の再発防止を講じていく。また参加者の減少も課題であり、次年度 H28 年度は父親母親の合同となるため、ルール作りに加え、本来の目的である親睦のために多くの方に参加していただけるよう募集の方法を再検討する。

2、故紙回収の収量・収益の改善

故紙回収は近年収量・収益ともに減少傾向にあった。本年度の取り組みとして、総会や理事會、環境整備部会において故紙回収に故紙を出していただくよう繰り返しお願いした。結果本年度は新聞購読数の減少やペーパーレス化、故紙ステーションの拡充の逆風下にあっても収量・収益ともに増加に転じた。収益は前年比+43,580 円トータル 602,460 円であった。

課題は会員数が多いものの収量が少ない地区の収量改善である。特徴として母親の役員のみ活動になっていることがあげられる。母親だけの回収には限界があり父親の参加が望まれる。他地区のように故紙回収は父親の仕事という空気を作っていく。また近年オートマ限定免許者が増えトラックの運転車が確保できない、トラックが確保できない、確保できてもトラックの運転に不安があるという声が聞こえる。

この点については各区の区長に協力をいただきトラックの提供や運転を区の皆さんにご協力をお願いし、故紙回収は田子浦地区のためのもの地区をあげての活動という意識の転換を図りたい。

3、小中合同事業の見直し

本年は田子浦中学校が幹事校であり、企画内容を従来の講演会中心の内容から見直し、富士市立高校の吹奏楽部を迎え本校吹奏楽部とコラボレートする演奏会とした。

市立校生と本校生徒が交流を通して互いに刺激を受け「小中合同教育演奏会」の名を体現するものとなった。例年講演が中心の企画だったため参加者の確保が課題であったが、子

供からお年寄りまで広く楽しめる選曲構成により地域のお年寄りや小学生の家族が多く来ていただいたのもうれしい結果であった。

今後も何らかの形で小中学生が関わる企画としていきたい。

#### 4、地域教育連絡協議会の活性化

地域教育連絡協議会は、田子浦小中 PTA はもとより田子浦地区の区長会、まちづくり会議議長、幼稚園園長、小中校長、子供会、児童クラブ、青少年育成部をはじめとする各種団体代表者が一堂に会し、田子浦地区の青少年の育成について話し合う場である。(年8回)

しかし近年、報告が主体のものになっており議論が少なく改善の必要があった。

田子浦中学校 PTA の担当月において避難所運営ゲーム(HUG)の体験講習を実施した。小グループで作業を行う試みが好評であった。2月度の会では現状の改善点を出席者から意見をいただいた。貴重な意見を参考に次年度の企画に生かしていく。

#### 5、生活指導部による巡回指導活動

巡回指導ではいずれも異常なしの結果であった。巡回の目的である犯罪の抑止効果、異常の早期発見のため、良い状態を常に確認しておくのが重要であり今後継続して活動していく。

#### 6、地区懇談会の有効活用

話あい、気づきあいの場として全員参加をめざしたものの地区によっては役員中心の参加というケースが見られる。また大勢が参加したものの活発な意見交換ができていないケースがあり少人数グループでの話し合い、井戸端会議的な自由な雰囲気が必要である。

また各地区から出てきた意見が吸い上げられていないことも課題である。

#### 7、懇親会等の改善

懇親会等は PTA の重要なコミュニケーションの場であるが従来は負担が大きいのが問題であった。

本年は懇親会の会費をできるだけ安く抑えるように努め参加しやすいように改善した。

報告以上

## 平成27年度 P T A活動最終報告

学校名 岩松中学校

会長名 志田好久

---

平成27年度重点活動の具体的な取り組み内容（三校合同事業の内容等も記入）

### ○岩松五団体合同教育講演会の開催

岩松地区五団体（岩松小、岩松北小、岩松中、岩松生涯学習、岩松北生涯学習）の本年度の幹事校になり、富士市出身の映画監督の渡辺喜子さんを講師に迎え「映画作りからの学び」のタイトルで講演と岩松中生徒、教師、地区住民出演、協力による自主映画の製作と上映を行った。

### 取り組みの効果

1. 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

#### －具体的な効果－

生徒、教師、保護者の連携がよく、三者の距離がより縮まった。講演会には地域の方々も多数来校していただき、岩松中 P T A の活動内容を知っていただくことができ、地域貢献にもつながりました。また、P T A 役員同士の絆がより深まったと思います。講演会では、映画製作を行って行く中で、自分自身を変えていくことよって、より成長していくことが大切だと話されていました。大変に参考になり、勉強になりました。

#### －反省点－

- ・限られた予算（35万）内での講師選びや3年に1度の幹事校は大変（3校で毎年持ち回り）。
- ・映画製作のため、生徒の束縛時間が長かった。
- ・挿入音楽の著作権や肖像権の問題があった。
- ・地域のお祭り（農業祭）と重なったため来場者が限られる。

#### －改善案－

毎年開催を隔年開催にすれば予算が増え、講師の選択肢が増える。開催時期の変更等も。

# 平成27年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立富士南中学校

会長名 佐藤健彰

平成27年度重点活動の具体的な取り組み内容（三校合同事業の内容等も記入）

## 1 重点活動

- (1) P T Aとしてできる支援活動（なおちゃん募金、被災地支援）
- (2) 生徒、保護者、地域にとってより良い学校環境づくり

## 2 具体的な取り組み内容

### (1) 被災地支援活動

昨年度まで富士南中と交流をしていた、宮城県女川町にある女川向学館に向けた募金活動。

### (2) 学校環境づくり

#### ア 成人教育

P T A新聞の発行。三校合同事業として星陵高校吹奏楽部演奏会。

#### イ 体育保健

キンボール大会。ソフトバレーボール大会。

#### ウ 環境整備

古紙回収（学校で集積・業者に搬入）。親子奉仕作業（校地内清掃・樹木選定）。正面玄関前にあるロータリー内の整地を行うとともに、芝桜の苗を移植し、数年後の春にピンク色の花を咲かせるプロジェクト。

#### エ 生活指導

地区懇談会。夏休み及び甲子祭における巡視。登校時のあいさつ運動。

#### オ 母親委員

給食試食会。バザーを開催して、制服等リサイクル・日用品バザー。卒業生用のコサージュラッピング。

#### カ 各部共通の取り組み

運動会において、会場巡視・P T A種目参加等。校内巡視。

## 取り組みの効果

1. 有
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

### －具体的な効果－

募金活動では、P T A総会で呼び掛けたり、運動会で募金箱を用意したりして取り組むことができた。学校環境作りでは、各部が中心になって充実した活動を行い、成果を上げることができた。

### －反省点－

情報発信は行ったつもりである。しかし、さらに多くの方々にP T A活動としての特色をお知らせし、参加者を増やしていく工夫をしたい。

### －改善案－

地区懇談会やコサージュについて、今年度実施した反省を次年度の計画や実施方法の改善につなげたい。

## 平成27年度 P T A活動最終報告

学校名 鷹岡中学校 会長名 金澤 明寿

平成27年度重点活動の具体的な取り組み内容（三校合同事業の内容等も記入）

- ① あいさつ運動（毎週水曜日登校時）
- ② 高校見学会（富岳館・富士見高校・星陵高校）
- ③ 天文教室（月一回開催）
- ④ 三校合同事業（当番校：友近890（やっくん）人権コンサート）

取り組みの効果

1.  有
2.  無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

- ・あいさつ運動により、生徒が自ら進んであいさつを行えるようになった。
- ・三校合同事業は、地元地域の方々にも参加いただけた。PRを上手に行えば、200名以上の参加が見込めると思われる。

—反省点—

- ・あいさつ運動は、年度末になるとPTA会員の参加者が激減した。年初にお願いしているためか、忘れている方が多いと思われる。連絡体制を再考したい。
- ・高校見学会は、平日開催のため、20名程度の参加に留まった。出来れば、倍の40名以上は参加してほしい。
- ・天文教室は、生徒の参加者を増やしたい。PR不足なのかもしれません。また、生徒以外の参加は殆ど無い状態です。本年は悪天候・インフルエンザ等により、1/3程度、開催中止でした。
- ・三校合同事業は、中学校開催と小学校開催では、催し物が異なる。対象年齢の幅が広く、企画が非常に難しいと思います。

—改善案—

- ・高校見学会は、PRを如何に保護者へ伝えていくのが課題であるため、PTA総会での告知、学校からのプリント配布(複数回)を積極的に実施したい。
- ・天文教室は、理科の授業でのPR、まちづくり協議会へのPR、学校HPからの情報発信を行い、参加者の募集を強化できればと思います。

## 平成27年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立岳陽中学校 会長名 杉山 正人

---

平成27年度重点活動の具体的な取り組み内容（三校合同事業の内容等も記入）

- 成人教育部 ・ P T A新聞「陽だまり」年3回発行  
・ 地区文化祭壁新聞づくり
- 環境整備部 ・ 奉仕作業、古紙回収、アルミ缶回収の実施  
・ バザーの実施
- 体育保健部 ・ 親子ファミリーバドミントン（練習会と大会の運営）  
・ 体育大会 P T A種目「綱引き」参加、駐車場係  
・ 親子 A E D 講習会
- 生活指導部 ・ ハイタッチあいさつ運動 年2回実施  
・ 下校時の通学路の巡視活動  
・ 県下一斉補導 年2回実施  
・ 広見夏まつり巡視活動
- 母親委員会 ・ 「感謝の気持ち」プレゼント作り  
・ 卒業生用コサージュづくり
- 三校合同研修会の実施（8月に実施）

取り組みの効果

1. (有) 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

- ・ 保護者間の連携が深まり、保護者ネットワークの広がりが見られた。
- ・ 学校と P T A または地域との連携が増え、学校の教育活動に対する保護者や地域の理解が深まった。
- ・ 親子で参加する活動を通して、家族間のコミュニケーションを図ることができ親子の会話が増えた。

—反省点—

- ・ さらに、活動内容を充実させていくために、来年度の活動計画を見直し、力の入れどころを明確にしていく。

—改善案—

- ・ 大規模校ならではの強みを生かして、人材を生かしながら古紙回収やアルミ缶回収、バザーなどを充実させる。



## 平成27年度 P T A 活動最終報告

学校名 富士市立吉原北中学校 会長名 小松 勝広

平成27年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ①毎月15日を基準に、夜間の地域巡回運動を実施した。生活指導部員に加え、P T A三役も一緒になって参加した。
- ②9月20日に行われた運動会では、体育保健部が中心となって駐車場への誘導を行った。
- ③年3回の古紙回収活動を計画し、地域への依頼をおこなった。

取り組みの効果

- ① - 有                      ② - 有                      ③ - 無

—具体的な効果—

- ①昨年度まで続けてきた月1回のあいさつ運動を、地域巡回運動とし夜19：30より毎月1回地域のコンビニ、商業施設を中心にパトロールを行った。昨年度までは、「中学生が夜買い物に来ている。」という情報が入ったが、今年度はそのような学校への連絡がなくなった。P T A役員の方たちも、夜間中学生が出歩いていない現状をみて安心していった。来年度以降も継続をしていく。
- ②昨年度の反省として引き継いだ、学校以外の駐車場の確保と校内の駐車スペースでの生徒の安全確保に意識して取り組むことができた。体育保健部の多くのお父さん方が早朝から参加し誘導を行ってくれたため、事故やトラブルなく円滑に実施できた。

—反省点—

- ③年3回予定していた古紙回収を、雨天のため3回とも中止することとなった。毎回、地域へ事前に周知し協力をお願いしているが、当日の朝の判断となるため、地域への連絡を徹底することができなかった。延期もしていないため、地域からの問い合わせもあった。

—改善点—

- ③地域の方の中には、古紙回収のために古紙を自宅に貯めておいてくれる方もいるため、雨天で中止になった場合は、電話連絡をしてもらい直接回収に伺うことを回覧板で周知しておく。長期的には、一定期間に古紙回収ボックスを設置することについても検討をしていきたい。

## 平成27年度 P T A活動最終報告

学校名 富士川第一中学校 会長名 中島純代

### 平成27年度重点活動の具体的な取り組み内容

\*本校P T Aスローガン「ふれあいはあいさつから」とした。

家庭・学校・地域の交流を深め、子供達がよりよい中学校生活を送れるよう、魅力あるP T A活動に取り組んだ。

\* P T A総会にて承認された各専門部の年間計画に対し、部長を中心に実施。

・古紙回収・愛校作業・あいさつ運動・スマホ携帯安全教室・校内新聞作成・コサージュ作り・ニュースポーツ教室・思春期講座・高校説明会

月例の理事会にて反省会を実施し、次年度への課題を確認した。

\* H 2 7 . 6 . 2 8 富士市P連合同研修会。富士川第一小学校との共同開催。

### 取り組みの効果

①. 有 2. 無

—具体的な効果—

環境整備部→古紙回収は、昨年度の反省を生かし、部員が担当地域を各実に把握回収。

天候や、実施日により収益に変動がある。

愛校作業は、天候に恵まれ会員・生徒が共に協力して行えた。

生活指導部→あいさつ運動は、週1回のハイタッチ運動日と重なり、子供達とふれあい気持ちのよい挨拶ができた。

スマホ携帯安全教室は、生徒は全員参加。又、授業参観の後に設定して行ったので、昨年より多くの保護者が参加した。

母親委員会→コサージュ作りは、毎年講師の先生をお招きし、卒業生の親から子供へ心を込めて作成する事が出来る。同学年の子供の会員同士、楽しく活動出来る。

体育保健部→ニュースポーツ教室、会員と中学生との交流を楽しく図ることができた。

思春期講座は、命の大切さを学び、有意義な講座であった。

本 部→各専門部の活動へ協力し、生徒とふれあい、P T A皆で楽しく活動できた。

富士市P連合同研修会では、共同開催の富士川第一小学校と何度か話し合いを持ち、協力して取り組むことが出来た。

—反省点—

①携帯講座に対し、保護者の参加を更に呼びかけたい。

②古紙回収の収益が、天候や実施日により変動があるので、収益につながる活動を考えたい。

—改善案—

①に対し、学校と協力し、保護者の参加が見込める日程設定等を考えたい。

②に対し、バザーを取り入れるなど、新しい取り組みを考えたい。

## 平成27年度 P T A 活動最終報告

学校名 富士川第二中学校

会長名 上野 英樹

---

平成27年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・各専門部の活動内容の充実
- ・「二中フェスタ」をP T A活動の柱として、より定着させるための活動内容の精選。

取り組みの効果

1. ①
2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)

—具体的な効果—

・各専門部の活動内容をより充実させるために、専門部長を中心に専門部独自の活動をより優先した。給食試食会やP T A新聞など、例年行っている活動でも、その内容を新しくしたり、昨年とはひと味違う工夫を取り入れたりするなど、それぞれの活動を広げることができた。

・例年行っている、8月の親子奉仕活動終了後の二中フェスタを、今年度は、本部役員が中心として行うだけではなく、各専門部で行う担当部分などは、各専門部に任せる部分を増やした。それにより、それぞれの活動がより充実し、盛況であった。

—反省点—

—改善案—

- ・親子奉仕作業は、校舎外だけでなく校舎内もやれると良い。
- ・高校見学会は、参加者が少なかったなので、今後検討を行う。